

## 感染症情報 5月7日～13日

府下小児科197医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1616例(堺市	64例)
②溶連菌感染症	503例(堺市	37例)
③突発性発疹	156例(堺市	12例)
④咽頭結膜熱	145例(堺市	9例)
⑤みずぼうそう	94例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	40例(堺市	4例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前々週比2.2%増、GWを含む前週からみると87.2%増の2,381件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、突発性発疹、RSウイルス感染症、みずぼうそうの順であった。

先週がGWを含んでいたため、比較はしにくい中で咽頭結膜熱が前々週と比較して、府下で77例→145例で88%増に、堺市で4例→9例になってきており、増加傾向が出ている。

流行性角結膜炎(いわゆる「はやり目」)が堺市で12例と多く、要警戒である。

大阪府で麻疹や風疹の報告はなかったが、沖縄県を発端とする麻疹が15日の時点で150人を超え、5月1日には三重県でも確認されている。MRワクチンの定期接種対象者は接種し、回数不足者は任意接種も考えていただきたい。